



弘前医療福祉大学短期大学部紀要

*Journal of Hirosaki University
of
Health and Welfare Junior College*

第6巻 第1号
2018年3月発行

弘前医療福祉大短期大学部紀要
J. Hirosaki Univ. Health Welf. Junior College.

弘前医療福祉大学短期大学部紀要編集委員会

目 次

[原 著] 学生と消防吏員を対象としたショアリングに関する基礎的研究 千葉 智博、立岡 伸章、中川 貴仁、藤原 健一	1
[研究ノート] 介護福祉士養成課程における中期実習から見る学生の技術面・精神面の到達度 —中期実習後の振り返りから見る本科生と委託生の比較— 相馬 陽子	9
ホタテとナガイモを用いた咀嚼しやすい介護食品「ソフトホタテ」の開発 葛西 静男、早川 和江、三上 統生、石岡真移子、阿部 直子	17
[特 集] 弘前医療福祉大学短期大学部 平成29年度 公開講座実施報告 持ち上げない介護で腰痛予防 福士 尚葵	25
救急救命士の視点からみる地域防災 中川 貴仁	31
料理をおいしく作るコツ ～うまみと香りの活かし方～ 三上 統生	35
[特 集] 弘前医療福祉大学短期大学部 平成29年度 事業実施報告 キッズハローワークへの参加について 工藤 雄行	41
生活福祉学科 介護福祉専攻 企画 「介護フェスタ」 ～見て・触れて・気づく 介護福祉の魅力発信・啓発・体験型イベント～ 中村 直樹	45
紀要規程・投稿要項	53
編集後記	
紀要編集委員会委員	

弘前医療福祉大学短期大学部紀要投稿規定

2015年5月27日改正

- 1 本紀要への投稿者は、弘前医療福祉大学短期大学部の教員及び非常勤講師とする（共同執筆者に卒業生を含むことは差し支えない）。
なお、この他、弘前医療福祉大学の教員及び非常勤講師の寄稿及び依頼原稿も含むものとする。
- 2 原稿は、未発表のもので、① 原著論文、② 事例研究・事例報告、③ 実践報告・研究報告、④ 研究ノート、⑤ 最近における介護福祉・食育福祉・救急救命に関する内外の知見や調査レポート・資料等、⑥ 公開講座他、本学行事にかかわる報告、以上の種類を明示した上で投稿するものとする。
- 3 投稿原稿は、和文または欧文とし、本原稿の他にコピー2部とCDまたはUSBメモリを添付する。提出に際しては、図・表・写真・本文・要旨の内訳を明記する。
- 4 投稿予定の原稿のうち、人を対象とする（研究に関する）ものは、構想の段階で研究倫理委員会に申請書を提出し、審査の承認を受けた上で投稿しなければならない。
- 5 投稿原稿は全て受理するが、原則として一人一編とする。本文の長さ、図・表・写真の大きさ等、編集上不都合が生じる場合、または印刷体裁が整わない場合には、変更を求めることがある。
- 6 投稿原稿は、研究倫理委員会の倫理審査を経て承認された旨を文中に明記して、紀要編集委員会委員長に提出するものとする。
投稿の締め切りは毎年12月20日頃とし、相当の遅滞があった場合は、紀要編集委員会での協議の上、次号発刊の紀要において対処する。
- 7 校正は二校までは投稿者が行う。初稿段階における大幅な変更は原則的に認めない。
また、二校における内容にわたる修正も認めない。
- 8 紀要編集委員会に提出される原稿の中で、複数名の共同研究者（連名）においては必ず、共同研究者全てについて役割分担、または、研究作業のどの部分や箇所において責任を果たしたのか、文中に明示しなければならない。
- 9 投稿する原稿については、「投稿論文原稿提出書」を必ず添付すること。紀要編集委員会では、投稿原稿の提出者に対し「受領書」を交付する。
- 10 紀要編集委員会では、投稿原稿の締め切り後、速やかに委員会を開催し、投稿された原稿の査読について協議し、査読者の分担、役割等を決定する。査読者は簡易な「投稿論文査読表」をもとに査読し、定められた期限までにその結果を紀要編集委員会に提出する。紀要編集委員会では、この結果を原稿提出者に伝え、必要に応じて適宜、修正、訂正してもらうものとする。
- 11 投稿原稿の抜き刷りの増刷を希望する者は、あらかじめ申し出るものとする。

弘前医療福祉大学短期大学部紀要執筆要項

- 1 投稿原稿はA4版、10ポイントで1枚につき40字（英字・数字は半角）×40行横書きとする。

原著論文、事例研究・事例報告などの研究ノートは10枚（16000字）以内とし、最近における介護福祉・食育福祉に関する内外の知見や調査レポートなどの資料は5枚（8000字）以内とする。但し、図表1枚は800字（半数）分に数えるものとする。

欧文原稿は、A4版の用紙を使って用紙の左右2.5~3.0cm、上下3.5~4.0cmの余白をとり、ダブルスペースで1行約60打字25行のタイプライト（用紙1枚に約300words入ることになる）をしたものとする。

欧文は必ずnative speakerによる校閲を受けたものであること。

- 2 図・表等は、各々1枚の用紙に図1または表1と書く。表題・図・表・写真は別葉とし、本文中に入れない。掲載箇所は、本文原稿の右端欄外に赤字で図・表・写真の番号をもって指定する。

図表原稿の大きさは、A4版を超えないことを原則とする。折りこみについてはできるだけ避けるようにする。

- 3 和文表題には、欧文表題・著者名の英文を付す。欧文の場合には、表題・著者名・所属の順とする。
- 4 本文とは別葉に、400字以内の和文要旨とキーワード3~5語を記す。欧文要旨を付す場合は300語以内とし、keywords 3~5語を記す。
- 5 注は、本文中にその位置をアラビア数字で（ ）中に指示し、注記は、各論文の形式に適した位置に置く。なお、注の活字は本文の活字よりもポイントを下げてもよい。
- 6 引用文献の記載は、ポイントを下げ、それぞれの学会誌等に順ずる。
- 7 他の出版物から図・表等の資料を引用転載する場合は、その資料が著者自身のものであっても、必ず出典引用する。

編 集 後 記

紀要第6号をお届けします。

今回掲載された論文は、原著論文1篇と研究ノート2編です。その他、平成29年度に開催された公開講座実施報告が3編、そして、生活福祉学科介護福祉専攻が関わりました地域の小学生を対象とした職業体験イベント「キッズハローワーク」及び平成29年度青森県福祉・介護人材確保対策事業の一環として同専攻が企画した「介護フェスタ」の実施報告が2編です。

後期は学外での実習指導等があり、特に多忙な時期です。また本年度は、津軽地域の介護福祉関連事業者と本学との「地域の介護福祉人材育成等に関する連携協定」締結、介護福祉士実務者研修（通信課程）の企画と準備、介護フェスタの企画と実施、第1回北日本学生救急救命技術選手権の本学での開催、そして別科調理師養成1年課程新設の準備と慌ただしい1年でした。その中で平素の研究成果を論文にまとめていただき御礼申し上げます。

今後も、介護福祉、食育（調理）、救急救命に関しての研究がさらにますます活発に展開され、その成果を積極的に紀要にご寄稿されますようお願いしております。

弘前医療福祉大学短期大学部
紀要編集委員会

委員長 牛田 泰正
副委員長 外崎 敬和
委員 鳥羽 葉
委員 中村 直樹
委員 工藤 雄行

Journal of Hirosaki University of Health and Welfare Junior College

弘前医療福祉大学短期大学部紀要

第6巻 第1号

平成30年3月23日発行

編集・発行 〒036-8102 弘前市小比内3-18-1
弘前医療福祉大学短期大学部内 紀要編集委員会
TEL：0172-27-1001

印刷所 〒036-8061 弘前市神田4-4-5
やまと印刷株式会社
TEL：0172-34-4111 FAX：0172-36-3299

Contents

[Original]

A Study of Shoring at Student and Firefighter

Tomohiro Chiba, Nobuaki Tachioka, Takahito Nakagawa, Kenichi Fujiwara 1

[Note]

Social and technical skill attainment of certified social worker education program students
as seen through mid-term training :

Post-training reflection and comparisons between enrolled students and job skills trainee students

Yoko Soma 9

Development of easy-to-chew nursing care food “soft scallop” using scallops and Chinese yam

Shizuo Kasai, Kazue Hayakawa, Norio Mikami, Maiko Ishioka, Naoko Abe 17

[Special Edition]

Hirosaki University of Health and Welfare Junior College 2017 Open Lecture Implementation Report 23

[Special Edition]

Hirosaki University of Health and Welfare Junior College 2017 Project Evaluation Report 39